

平成30年9月教育委員会定例会 会議録

平成30年(2018)9月25日(火)午後2時、出雲市教育委員会定例会を市民応接室に招集した。

1. 会議に出席した委員

教 育 長	榎 野 信 幸
教育委員(教育長職務代理)	松 浦 剛 司
教 育 委 員	小 豆 澤 貴 洋 子
教 育 委 員	水 陽 子
教 育 委 員	錦 田 剛 志

2. 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	植 田 義 久
教育部次長(教育施設課長)	金 山 隆 司
子ども未来部次長 (保育幼稚園課長)	坂 本 伸 仁
教 育 政 策 課 長	渡 部 祐 子
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	児 玉 弘 之
学 校 給 食 課 長	金 森 真 治
出 雲 科 学 館 長	山 本 利 明
学 校 教 育 課 主 査	山 崎 創
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	渡 部 俊 樹

3. 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4. 傍聴者

0人

開会

(榎野教育長) 只今から、平成30年9月出雲市教育委員会定例会を開会します。本日の会議はお手元に配付しております日程のとおり行います。

1. 出雲市教育委員会感謝状の贈呈

(榎野教育長) まず初めに、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。渡部課長に進行をお願いします。

(渡部課長) 只今から、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を行います。本日、感謝状を贈呈する方は、乙立小学校青色パトロール隊様です。贈呈の前に、ご功績につきまして、ご紹介申し上げます。

(ご功績の紹介)

先般開催されました出雲市教育委員会において、出雲市教育委員会感謝状贈呈要綱第5条の規定により感謝状贈呈が決定されましたので、本日、教育委員会感謝状を贈呈するものです。

(榎野教育長、感謝状と記念品を贈呈)

(乙立小学校青色パトロール隊 代表 角田信之様 ご挨拶)

(渡部課長) 以上をもちまして、出雲市教育委員会感謝状の贈呈を終了します。

2. 教育長行政報告

(榎野教育長) それでは、教育長行政報告を行います。

(榎野教育長) (以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

H30.8.27	県市町村教育委員会連合会要望活動
H30.8.30	市議会初日 ~9.27
H30.9.1	防災訓練(中止)
H30.9.3	市議会一般質問 ~9.6
H30.9.10	市議会文教厚生常任委員会・予算特別委員会分科会
H30.9.18	市議会決算特別委員会 ~9.21
H30.9.21	秋の全国交通安全運動一斉行動出発式
H30.9.25	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

H30.9.27	市議会最終日
H30.9.28	ポイ捨て一掃大作戦
H30.10.2	外国語教育推進モデル事業研修会

H30.10.3	学校訪問 10.4、17、26
H30.10.7	出雲駅伝開会式
H30.10.8	出雲駅伝
H30.10.10	管内教育長会
H30.10.10	県学力育成会議
H30.10.18	中国地区都市教育長会 ～10.19
H30.10.21	ノーベル賞受賞梶田隆章氏講演会
H30.10.24	定例教育委員の会議

(3) 一般質問

No.	議員氏名	質問要旨
1	飯塚俊之	<p>空き校舎（校庭、体育館を含む）の利活用について</p> <p>①空き校舎(校庭、体育館を含む)の現状 ②空き校舎(校庭、体育館を含む)を利活用する際の手順 ③空き校舎(校庭、体育館を含む)の利活用策についての進捗状況 ④今後の取り組み</p>
2	板倉明弘	<p>学校を取り巻く課題について</p> <p>(1)学力・学習状況調査の結果について伺う。 ①学力を高める施策 ②学習状況調査の結果は ③AIなどの最先端技術を教育に生かす実証実験について</p> <p>(2)学校設備について伺う。 ①トイレの洋式化の達成率は ②エアコン設備の達成率は ③校庭の芝生化の達成率と施策は ④古いプールの対応は</p>
3	勝部順子	<p>市内の教育現場のエアコン設置の現状と、今後の取り組みについて</p> <p>7月31日付けの山陰中央新報に、島根県内の公立小中学校のエアコン設置の状況が掲載された。出雲市の設置状況は、小学校は4.9%、中学校は71.9%設置と報道された。</p> <p>小中すべての普通教室に整備されたのは、安来市、川本町、西ノ島町、知夫村の4市町村のみである。</p> <p>報道によると、安来市は14年度から4年計画で、業務用に比べて設置費が3分の1～5分の1程度の家庭用機器を小中学校22校で導入。他の自治体でも動きがある。</p> <p>今年の夏は、思った以上に暑く体に応える。学校現場の、エアコン設置は重要な課題と考える。</p> <p>出雲市の現状と今後の考えを伺う。</p>
4	後藤由美	<p>学校の熱中症対策とプール改修について</p> <p>学校教育環境について伺う。</p>

		<p>(1)学校教育環境の整備は子どもの成長・発達を保障する大事な仕事であり、自治体の重要な仕事の一つであると考えているが、市の認識を伺う。</p> <p>(2)熱中症対策(幼・小・中のエアコン設置)について</p> <p>①2学期も暑い日が続くことが予想される。児童・生徒が安全に学習できるよう、熱中症対策が欠かせない。授業中に児童・生徒が水分や塩分を補給できるような配慮などを、今以上にとるべきである。所見を伺う。</p> <p>②今夏は記録的な酷暑となり、気象庁は災害ととらえた対策が必要とよびかけた。市内でも連日の猛暑で、学習に集中しにくい、食欲がないなど深刻な事態がおきた。一刻も早くすべての幼稚園・小学校・中学校の教室と体育館にエアコンの設置が必要である。政府は来年の夏までにすべての公立小・中学校にクーラーを設置する方針を固めたとの報道もあるが、市としてどう具体化されるのか伺う。</p> <p>(3)老朽化したプールの改修について</p> <p>①市内で最も古いプールは稗原小学校で1970年(昭和45年)建設である。所々補修がされているが、子どもたちが足の裏をけがするなど、決して安全とは言えない状況が続いている。子どもたちが安全なプールで学べるように改修・修繕をするべきと考えるが、所見を伺う。</p> <p>②市の「学校施設整備耐震化基本計画」に「小中学校プールの設置状況と今後の整備の方向性」が示されている。「改築は原則として40年以上経過し、老朽化した場合に行う」「新改築は原則として普通学級12学級以上の小中学校を対象に行う」とある。小規模校の施設整備を後景に追いやるものではないか。見直すべきと考えるが、所見を伺う。</p>
5	大場利信	<p>1 小学校の普通教室へのエアコンの早期完全設置について</p> <p>近年の猛暑対策として、小中学校の普通教室へのエアコン設置は急務と考える。今年度予算で小学校へのエアコン設置のための予算が計上されているが、これに関し以下伺う。</p> <p>①未設置の中学校4校へのエアコン設置状況を伺う。</p> <p>②すべての小学校31校へのエアコン設置のための実施設計を今年度行うこととされているが、現時点の進捗状況および設置見込台数について伺う。</p> <p>③児童・教職員の健康面および学習能率の向上の観点から、来年夏までに31校の普通教室へのエアコン設置の工事を完了さすべきと考えるが、決意を伺う。</p> <p>2 ミュージカル「あいと地球と競売人」の出雲市での実施について</p> <p>近年の猛暑や線状降水帯の発生、はたまた台風が東からやってくる</p>

		<p>など想定外の異常気象や気候変動、ひいては地球温暖化に漠然とした不安を感じるのは私一人ではないと思う。</p> <p>地球環境の危機を訴える漫画「地球の秘密」を書いたのちに急逝された出雲市斐川町出身の坪田愛華さんのミュージカル「あいと地球と競売人」が5年ぶりに復活し、今年は松江市美保関町七類のメテオプラザで実施される。このミュージカルは、県民参加型の文化活動として、「地球環境を大切にしよう」との環境保護意識の向上、子どもの教育、文化振興の観点から大きな意義があると考え。このような観点から、以下伺う。</p> <p>①出雲市として、このミュージカルの意義と波及効果をどのように認識しておられるのか所見を伺う。</p> <p>②このミュージカルには多くの小中学生がエキストラ出演し、演技を通して、地球環境保護の意識の涵養と学校では得られない多くのことを学び得ていると聞いている。教育上の効果(将来の人材育成)についてどのように認識しておられるのか伺う。</p> <p>③1994年3月に出雲市で初めて公演され、島根県、全国へと広がって行き県民の財産となっている。当時エキストラで出演した小中学生も今は社会人となり、このミュージカルを支えて来ている。実施体制づくりや資金、エキストラ募集や演出づくりなどの課題に向きあいながら、出雲市で実施して欲しいとの市民の方の声を踏まえ、坪田愛華さんの出身地の出雲市で、実施されるよう提案する。これの意向を伺う。</p>
6	湯浅啓史	<p>小学校の英語教育の早期化、プログラミング教育の必修化への対応を問う</p> <p>2020年から始まる次期、新学習指導要領によって、小学校の英語教育の早期化、プログラミング教育の必修化が行われる。</p> <p>①具体的にどのような事が望まれているのか</p> <p>②出雲市は、どう捉え、どのように教育現場で実施しようとしているのか</p> <p>③出雲市の対応と検討はどのような状況か</p> <p>④人的対応として、外部人材の活用を含めた検討はされているのか</p>
7	板倉一郎	<p>子どもの熱中症対策について</p> <p>今年の夏は、非常に暑く、今もその状況は続いている。毎日のように熱中症情報がだされ、命の危険に関わる暑さとなっている。この暑さは、今後も毎年続いていくと想定されている。このような状況の中で、子どもの健康・安全をどのように確保していくかが重要である。そこで、子どもに関わる次の点を伺う。</p> <p>①この夏の熱中症の被害状況について伺う。</p> <p>②小中学校、幼稚園、保育園における熱中症対策の状況について伺う。</p>

		<p>③小中学校、幼稚園、保育園におけるエアコンの設置状況および未設置個所の早期設置についての考えを伺う。あわせて、西野小学校の軽量鉄骨造りの校舎について暑さを心配する声がある。暑さ対策について伺う。</p> <p>④夏休みにおける学校のプールの運営状況について伺う。</p> <p>⑤夏休みの子どもの居場所について、どのように考えているのか伺う。</p>
8	萬代輝正	<p>どうなる！中学校部活動指導員配置</p> <p>①市内中学校の部活動の現状について</p> <p>②部活動を理由とした校区変更人数と種目</p> <p>③部活動指導員の規則等の策定状況と本年度の配置状況</p> <p>④来年度へ向けた増員配置への市の対応状況</p> <p>⑤部活動を精選する方法と具体的な考え方</p> <p>⑥生徒のメリットはあるのか</p>
9	本田一勇	<p>学校給食混入物事故について</p> <p>混入物事故の対策マニュアルがあれば、示してほしい。</p>

(槇野教育長) 只今の報告で、質問等がありますか。

(各教育委員) ありません。

3. 会議録の承認

(槇野教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回8月定例会の会議録について、何か意見がありましたでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 特に意見等ありませんので、8月定例会の会議録については承認します。

4. 議事

(槇野教育長) それでは、議事にはいります。「議第29号 出雲市国際交流の家管理規則の一部を改正する規則」を、学校教育課 金築課長に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、議第29号について、何か質疑等はありませんか。

(松浦委員) A L T (外国語指導助手) の皆様は、ここにお住まいでしょうか。

(金築課長) 全員ではありません。ALT 6人のうち3人がこちらの塩冶住宅に居住されています。残りの3人は、勤務地の関係もありますので、民間のアパートに居住されています。

(小豆澤委員) 今回、湖陵住宅の老朽化に伴い、解体し新築はしないということですが、残る塩冶住宅が老朽化した場合は、どうなさる方針でしょうか。

(金築課長) いずれは検討することとなりますが、民間のアパートに居住される場合においても同条件で貸付料を個人負担いただいていますので、どちらが効率的であるか等考慮し方針を定めていきたいと考えています。

(小豆澤委員) 国際交流の家に限らず、市営住宅等、市が提供する住宅のあり方として、民間で対応可能であるということで簡単に行政が手を引いていくと、ニーズが高ければ民間事業者も参入するのですが、民間事業者の参入が難しくなった場合を想定したときに非常に困る世帯等もあるのではないかという思いから、塩冶住宅が使えなくなったときのことを質問させていただきました。

(槇野教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) ないようですので、議第29号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(槇野教育長) ご異議ありませんので、議第29号については承認します。

5. 報告

(槇野教育長) 次に、報告事項に入ります。報告(1)「出雲市教職員多忙化解消プランに基づき各校から提出された計画について」を、教育政策課 渡部課長に説明願います。

(渡部課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(水委員) 「会議時間を短く設定」、「職員朝礼の回数を減らす」など、部活動は別として、そういった目標設定がマイナスに働くことをとても心配しています。それぞれの学校で考えられた報告書だとは思いますが、学校規模やクラスの児童生徒の人数によっ

て、先生方の仕事量の差もある中、51校すべて同じものさしで多忙化解消に係る計画を設定されてはいないでしょうか。例えば、行事の前などは念入りな確認が必要ではないかと想像しますが、生徒数が多い学校で、会議を1時間で終える事が可能であるのかと疑問が生じます。そのあたりは、現場で漏れ落ちのないようにということを必ず意識して進めていただきたいと思います。また、その先には、地域とのつながりを保つような行事まで削減するような発想になるのではないかと、少し私は危惧しています。

(錦田委員) 私も同感です。学校の個性と地域社会の現状がそれぞれにあると思いますが、学校行事を見直す際に、一律に「多忙化解消」という名の下に、真に地域や子どもたちにとって必要な行事も合わせて削減されてしまうケースが出てくるのではないかと、ひいては、地域の教育の低下につながるのではないかとということを強く危惧します。ではどうしたらよいのかということですが、やはり校長先生が指導力を発揮しなければ、学校の経営・運営はできないと思いますので、これまでも増して校長先生のマネジメント能力が求められている気が強くいたしました。ぜひそうした面にも力を入れていくべきではないかなと思います。また、部活動については、過剰な面を是正する必要は私も感じているところですが、部活動を縮小したときに、子どもたちの受け皿が家庭や地域にあるのかという、いつもの議論かもしれませんが、そのことも一方で検討を加えていかなければならないのかなという印象を持ちました。

(松浦委員) 各校の計画の進捗状況は今後どうとりまとめられるのですか。フォーマットを作成して目に見える形で管理されるのか、抽象的な文章により報告されるのか。

(渡部課長) 1年を経過した時点で、見直し、見返しをしていただくことを考えています。進捗状況、実績について数値化できるものがあればそのデータを提供いただきたいと思いますと思っていますけれども、義務化はしていません。1年ごとに報告書を提出していただくことはお願いしています。

(松浦委員) 1学期は人事異動などもあり忙しいのではないかと思います、これが通年忙しいものかどうかということも見ていきたいと思っていますけれども、先生の中に「仕方がない」という意識もあるのではないのでしょうか。その意識が変わっていかないとなかなか業務を減らすことに関して前に進まないのではないのでしょうか。

(錦田委員) 「職務環境の改善」は、学校訪問の際に強く必要性を感じました。昔に比して多くの職員の方が働いていらっしゃる状況の中、ミーティングテーブルもないような状況に驚きまして、市役所の庁舎にはこれだけの会議室があるわけですが、学校現場にはそうしたスペースがないと、少し見ただけでも感じましたので、先生方の環境の改善も並行して進めていくべきではないかなと思いました。

(小豆澤委員) 今回、業務改善を進めるに当たっての現場の先生の希望は、事務作業より子どもたちと向き合う時間を確保したいということであって、「定時に帰る」あるいは

は「残業時間を減らす」という位置付けだったかなという気がします。今は、日本全国挙げて「働き方改革」ということでこういった取組になっていると理解します。それで、先ほど錦田委員からあった「校長先生のマネジメント」に関連して、せめて一般管理費全体といわずとも、例えば学校の人件費について考えていただいて、様々な教育現場の課題解決には増員しかないというのであれば、今現在の教職員の残業代を算出いただき、その相当額で雇える人数をどんどん教育長に要求するくらいの管理手法が必要かなと思います。よく学校においても「経営」と言われますが、全く人件費や管理費も計算しないような経営はありえないというのが私どもの感覚です。校長先生は、数字の根拠をもって人材要求を進めていくことが必要ではないでしょうか。本当は、できれば、現代の技術によって多忙化解消や生産性向上を学校現場で求めていただきたいところですが、やはり教育は人と人だということをお伺いすると、どうしても人員の増強ということになりますので、であるならば、各校長先生たちが学校の現況を踏まえて、数値に基づいた人材要求を教育委員会等へ要求していただきたいと感じます。

（槇野教育長） この問題は、それぞれのみなさんが様々な思いをお持ちであり、相反する意見もあるだろうと思います。ただ、何かを変えようというときには、ある程度大胆かつ今までとは違う発想で物事に取り組んでいかないと、結局は今までどおりということになりかねません。委員の皆様から示されました懸念も分かりますが、この機会にしっかり行事を見直して、思い切ってやめようという発想も必要です。もちろん、内容にもよりますので、校長会においても、「教育の心や本質の部分は失わないような改革を」という願いはしていますが、今まで当たり前で捉えていたものを思い切ってえいやとやめることもひとつの意識改革になると思います。今まで時間外勤務という概念が学校現場、教育現場にはほとんどなかったわけですから、この度、ICレコーダーを導入して「勤務時間」をまず意識し、なおかつ時間外勤務縮減の方策をみんなが考えないと、なかなか変わらないだろうと思います。今、中教審では、教員の時間外勤務を際限なく膨らませてきた元凶といわれている、いわゆる「給特法」における月額4%で定額支給される「教職調整額」の検討と、年間の時間外勤務の上限規制などが議論されていますが、なかなか難しい問題です。制度を改革して教育の質が落ちては困りますし、様々な懸念もあるでしょうけれども、とにかく、先ずみんなの意識を変えて取り組むということが重要ではないかと考えます。

（松浦委員） 各校による計画が出されたのは、県内では出雲市だけでしょうか。

（槇野教育長） 出雲市だけと思います。

（松浦委員） 市外へ異動されたら意識もゼロに戻ることもありましようから、島根県全体で意識して取り組む必要がありますね。

（槇野教育長） 今後も本計画に関わる動向に関しては、本委員会の場でお知らせしていきます、意見を求めたいと思います。

(槇野教育長) それでは、続きまして、報告（２）「小学校外国語教育授業公開及び研修会について」を、学校教育課 金築課長に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の報告について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(槇野教育長) 次に、報告（３）「日本語指導を必要とする帰国・外国籍児童生徒の状況について」を、同じく学校教育課 金築課長に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告（３）について、何か質問等はありませんか。

(松浦委員) 日本語指導員は教員免許が必要ということですが、人員確保は苦勞されていますか。

(金築課長) 苦勞しています。

(錦田委員) 「母国別人数」の欄で「日本語１０人」とありますが、この意味を教えてください。

(金築課長) 帰国子女です。

(小豆澤委員) 先日の弁論大会で発表した外国籍の生徒が、新しく入学してきた外国籍の生徒を教えているというスピーチがありましたが、彼らが育って出雲市の教員になってくれるとよいですね。

(松浦委員) 出雲市ならではの弁論大会でしたね。今後、市内企業で働く外国人によって、学校に入学してくる児童生徒の母国語も変化していくのでしょうか。

(槇野教育長) 今１７６人ですが、３００人、４００人となったときに、現在のやり方では限界も想定されますので、様々なケースを想定した対応の検討を開始することを内部で話しているところです。

(錦田委員) 今後の見通しはどうか。

(槇野教育長) 担当課と人材派遣会社双方で情報交換をしており、ある程度の見込みは立っていますが、そのとおりになるかは不明です。

(金築課長) 先般、派遣会社2社と我々で打合せし、情報収集に努めているところです。

(槇野教育長) 見込みを立てることがなかなか難しい状況ですが、後手に回らない対応をと考えています。

(槇野教育長) 次に、報告(4)「平成29年度(2017)出雲市学校給食会物資会計決算について」を、学校給食課 金森課長に説明願います。

(金森課長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(4)について、何か質問等はありませんか。

(水委員) 収入未済額は減っていますか。

(金森課長) 児童手当から収納していただく手法などにより、滞納繰越分のみならず現年分についても少しずつ減っています。

(槇野教育長) 次に、報告(5)「科学館特別講演会の開催について」を、出雲科学館 山本館長に説明願います。

(山本館長) 資料に基づき説明

(槇野教育長) 只今の、報告(5)について、何か質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

6. その他

(槇野教育長) 次に、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 渡部課長に説明をお願いします。

(渡部課長) 資料に基づき説明。

(槇野教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(榎野教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

7. 次期教育委員会の開催時期

(榎野教育長) 次期教育委員会の日程ですが、10月24日(水)の、午後2時から、庁議室で開催いたします。

閉会

(榎野教育長) 以上をもちまして、平成30年9月出雲市教育委員会定例会を閉会します。

(15:15) 定例教育委員会閉会